

【日本小児看護学会誌】
オンライン投稿・査読システムへの移行についてのお知らせ
—第2報—

- * 郵送による紙媒体の新規投稿論文の受付は、2016年8月第3週金曜日必着分を以て終了します。
- * 以降、2016年11月のオンライン投稿・査読システム開始まで、新規投稿の受付を一旦中止いたします。
- * 2016年11月からオンライン投稿・査読システム「Editorial Manager[®]」を運用開始予定です。
- * 「Editorial Manager[®]」を利用してご投稿される際は、今後、本学会ホームページに掲載予定の投稿規程（2016年改正）に沿って原稿をご作成ください。
- * すでにご投稿いただいている論文や2016年8月第3週金曜日必着分の論文までは、従来通りの投稿規程（2015年7月24日改正）と郵送による紙媒体での運用を継続してまいります。

以下、オンラインでの投稿をご準備いただくために、今回は、2016年改正の投稿規程から現時点で決定している「原稿の種類」と「原稿の概要」の一部のみを公開いたします。
追って、全文を公開予定です。

<11月以降にオンラインにてご投稿される方に向けて>

○原稿の種類（種類と内容が変更になります）

原稿の種類は、総説、研究、実践報告、資料であり、内容は以下の通りである。

【総説】看護学に関わる特定のテーマについて文献考察を行い、当該テーマについて総合的に現状や研究の動向、展望を明らかにしたもの。

【研究】小児看護学の発展に貢献する研究論文であり、学術的価値のある新しい知見や実践への示唆が示されているもの。

【実践報告】小児看護の実践および教育のうち、小児看護の発展に寄与するあるいは会員の参考になるもの。事例報告など。

【資料】小児看護に関する研究の基礎となる資料的価値のあるもの。実態調査、概念分析、文献検討など。

○原稿の概要（原稿のフォーマットと枚数が変更になります）

1) 投稿原稿は、A4判横書きで、左揃え、40字×20行（800字）、フォントのサイズ10.5とし、適切な行間をあける。

2) 投稿原稿の1編は本文、文献、図表を含めて下記の枚数以内とする。これを超えるものについては受け付けない。最終原稿においても受理しない。なお、図、表および写真は1点を1枚（1ページ）と数え、刷り上がり希望サイズで作成する。

<u>総説</u>	<u>14枚以内</u>
<u>研究</u>	<u>18枚以内</u>
<u>実践報告</u>	<u>18枚以内</u>
<u>資料</u>	<u>14枚以内</u>

- * オンライン投稿・査読システムを用いた投稿・査読に関する情報は、本学会ホームページで随時お知らせいたします。ご確認をお願いいたします。

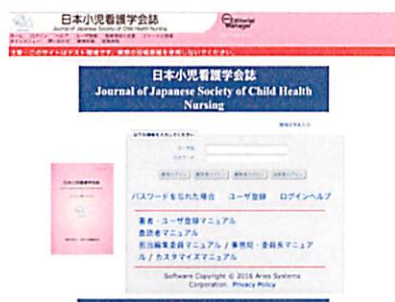
日本小児看護学会誌の投稿方法が変わります！

平素から学会活動にご協力を賜り心より感謝申し上げます。編集委員会より重要なお知らせです。

2016年
11月

開始予定!!

オンラインでの投稿・査読に 変わります



オンライン投稿・査読システムはEditorialManager[®]を使用します。
オンライン投稿・査読システムへの移行に伴い、今後の学会誌の投稿方法が大きく変わります。

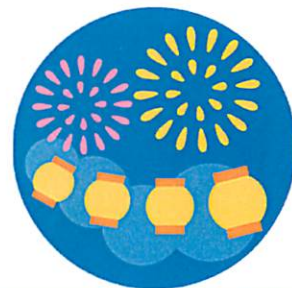


1

紙媒体での新規投稿は、2016年8月第3週金曜日必着 (2017年3月発行分)を以て終了します



- * 8月第4週～11月オンライン投稿・査読開始まで、
新規投稿の受付を一旦中止いたします。
- * 紙媒体で査読中の論文については、
従来通り紙媒体・郵送による投稿・査読を継続します。



2

随時投稿になります

年3回の学会誌発行に応じた
新規投稿の締切日の設定は
なくなり、随時投稿になります。



3

投稿規程が改正されます

オンライン投稿に対応した投稿規程に改正予定です。
必ずご確認ください。

- * 2016年8月第3週金曜日必着までの新規投稿論文と
現在査読中の論文は、
現行の投稿規程を用いてください
- * オンラインによる新規投稿論文は、
改正後の投稿規程を用いてください

